

1年探究科学科 探究活動の基礎講座 —TKRI—

「TKRI」とは、「Tka-Ko-Research」の略で、探究活動に必要な実践スキルを学ぶ少人数ゼミです。2学期(α)は、「読む」「書く」「表す」「話す」の4講座を受講しました。1年探究委員がレポートします。なお3学期(β)は、今回学んだことを生かして、ミニ課題研究や基礎実験演習を行います。

□読む講座:情報の読み取りと活用

新聞記事には、各新聞社の意図が込められています。同じ日の5社の記事をテーマ別に読み比べ、グループ毎にその違いを模造紙にまとめて発表したり、各新聞社の立場に分かれて、架空のニュースをもとに新聞記事を作成したりしました。メディアの情報を鵜呑みにせず批判的に読む＝「クリティカル・シンキング」の力が身についたと思います。



□書く講座:論理的な文章を作る

文中の主語を見つけ出したり、文の要約の練習をしたりするなど基本的なことから学び、最後に、「2021年の東京オリンピックを開催すべきか、中止すべきか」についてレポートを書きました。「論理的」に書くということは、一つの事柄を多角的にとらえ、データの裏付けのもと、筋道の通った説得力のある文章を書くことだと学びました。



□表す講座:表計算ソフトの活用

この講座では、表計算ソフトの様々な機能とその使い方について学びました。気象庁のデータをもとにグラフを作成し、「今年の夏は暑かったのか」というテーマでレポートを作成しました。データをグラフ化すると、情報を速く正確に分析できることがわかりました。2年次の課題研究で大いに役立つと思います。



□話す講座:人を惹きつけるプレゼンテーション

人々を惹きつけるプレゼンテーションとは、どのようなものか?まず、いろいろなプレゼン動画を視聴し、良かったところを抽出しました。最後に「高岡高校の良いところを中学生に伝える」というテーマで、各自がスライドを作成し、工夫を凝らしたプレゼンをしました。内容だけではなく、話し方もとても重要だということを知りました。



《読む講座》



《書く講座》



《表す講座》



《話す講座》

3年人文社会科学科「英語ゼミ」最終発表会

令和2年11月18・25日(水)の両日、人文社会科学科3年生が「英語ゼミ」(以下「英ゼミ」)で、最後のプレゼンテーションを行いました。「英ゼミ」は、本校人文社会科学科2・3年のみに設置されている科目で、週に1時間、英語のニュース番組等を教材として、英語のスピーチ力を磨いてきました。「マスク」や「パンデミック」といった身近な問題から「臓器移植」や「自動運転車」など科学技術に関する問題、「飢餓・難民問題」「人種問題」などグローバルな課題など、各人が関心のある課題に関してプレゼンを行い、3年間の成果を披露しました。



スライドをもとに発表する3年生

2年探究委員が、最終プレゼンを終えた3年生と授業担当の先生にインタビューしました。

- **Mさん**; 英ゼミで習ったトピックが日常生活に出てくると嬉しかった。世界で起きていることを知り、それについての解決策を考えることが大切だと、日々意識するようになった。
- **Gさん**; 最初は人前で話すのは苦手だったが、何回もやるうちに少しずつ気持ちの切り替えができるようになり、徐々にプレゼンが上達していくのが実感できた。
- **Sさん**; 一年次のTKRでプレゼンにおいて何が大事かを学び、それを実践する場が英ゼミの授業だった。皆の発表の良い点を吸収しながら、上手く伝えることを意識して発表するという経験を積めてよかった。
- ◇ **授業担当の先生より**; 「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語の総ての技能を磨くことはもちろんですが、日頃から時事問題や国際情勢に関心を持ち、聞き手のことを知って初めて、効果的なプレゼンができます。「英ゼミ」は、グローバルに活躍する皆さんにとって必須の力を育成する授業です。

1年探究科学科 京大大学院生による出前講座 視聴

令和2年11月24日(火)、「京都大学学びコーディネーター事業」として、実際に研究活動を行っている現役の大学院生から、「課題研究」のやり方について学びました。

次の二本のビデオ動画を、オンデマンドで視聴しました。

①「課題探究の全容とテーマの見つけ方」

この講義では、「そのチームでしかできない課題研究をすること」の意義を学びました。互いの意見を肯定的に受け取ることや明白な中間目標を決定しておくなどのルールを決め、そのチームならではのテーマ設定をすることが第一歩であることがわかりました。



教室での視聴の様子

②「仮説検証ルーブ:データの取り方と評価」

この講義では、データの取り方には「文献調査/アンケート調査/ヒアリング/プロトタイプング*」の4種類あり、それらのデータを用いて、設定した課題(仮説)の有効性や適切さを徹底して検証することが、優れた課題研究の鍵であることを学びました。

2年次の課題研究ではこれらを意識して取り組みたいと思います。

*プロトタイプング:頭の中にある理論的なアイデアを実際に形にして、現実世界での影響を検証すること

〜編集後記〜 今号は、1年探究科学委員が初めて記事を書きました。活動内容が伝わる編集を心がけました。ぜひ読んでください。(1年探究委員) これからの時代は世界に目を向けていくことが大切だと、改めて感じました。目指せ、グローバル人材!! (2年探究委員)